

平成28年度 貸借対照表

e-Net 少額短期保険株式会社  
平成29年 3月31日現在  
単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 1,644,883 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 1,262,398 】</b>
現金及び預金	643,004	支払備金	22,806
貯蔵品	2,802	責任準備金	265,676
未収保険料	369,472	未払金	23,156
未収金	185	代理店借	188,071
代理店貸	12,951	再保険借	632,388
再保険貸	562,796	仮受金	90,306
前払費用	6,300	未払法人税等	39,611
仮払金	33,448	未払事業税等	380
繰延税金資産	13,887		
未収収益	33		
<b>【固定資産】</b>	<b>【 116,874 】</b>		
(有形固定資産)	( 16,028 )	負債の部合計	1,262,398
営業用不動産	5,865	純資産の部	
その他の有形固定資産	33,557		
減価償却累計額	-23,393	<b>【株主資本】</b>	<b>【 500,045 】</b>
(無形固定資産)	( 38,906 )	(資本金)	( 207,000 )
電話加入権	16	資本金	207,000
ソフトウェア	38,890	(資本剰余金)	( 177,000 )
(その他資産)	( 61,938 )	資本準備金	177,000
保険積立金	2,737	(利益剰余金)	( 116,045 )
差入保証金	13,435	繰越利益剰余金	116,045
長期前払費用	27,140		
敷金	625		
供託金	18,000		
<b>【繰延資産】</b>	<b>【 685 】</b>		
繰延資産	685	純資産の部合計	500,045
資産の部合計	1,762,443	負債及び純資産の部合計	1,762,443



# 個 別 注 記 表

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

## I. 重要な会計方針に係る事項

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法

### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法

無形固定資産 定額法

### 3. 当期末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりです。

#### [支払備金]

普通支払備金（出再支払備金控除前）	190,251,692 円
同上にかかる出再支払備金	170,572,467 円
差引（イ）	19,679,225 円
I B N R 支払備金（出再 I B N R 支払備金控除前）	35,539,700 円
同上に係る出再支払備金	32,412,242 円
差引（ロ）	3,127,458 円
計（イ＋ロ）	22,806,683 円

#### [責任準備金]

普通責任準備金（初年度収支残）	226,889,406 円
異常危険準備金	38,786,797 円
計	265,676,203 円

### 4. リース物件の所有権が借主の移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

### 5. 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

### 6. 1 株当たり純資産額は、3,424.9 円であります。

## II. 会計方針の変更に関する注記

消耗品その他これに準ずる経常的に消費する資産の取得に要した費用の額は、今期より取得した事業年度の費用として計上することに変更しています。

## III. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 23,393,526 円

## IV. 損益計算書に関する注記

### 1. 収益及び費用の計上基準

①収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義で計上しています。具体的には保険始期ベースで計上しています。

②費用の計上基準は、発生主義で計上しています。

### 2. 収益及び費用に関する金額

①正味収入保険料は、201,778,027 円です。

②正味支払保険金は、32,834,468円です。

③支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	82,700,582円
同上に係る出再支払備金繰入額	74,459,160円
差引（イ）	8,241,422円
I B N R 支払備金繰入額（出再 I B N R 支払備金控除前）	13,545,768円
同上に係る出再 I B N R 支払備金繰入額	12,533,280円
差引（ロ）	1,012,488円
計（イ+ロ）	9,253,910円

④責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

普通責任準備金繰入額（初年度収支残）	32,232,432円
異常危険準備金繰入額	5,265,072円
計	37,497,504円

3. 利息配当金収入は、主に八十二銀行の定期預金に係る預金利子であります。

4. 1株当りの当期純利益は、764.04円であります。

#### V. 株主資本等変動計算書に関する注記

当期事業年度の末日における発行済株式の数 146,000株であります。

#### VI. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の総額は13,887,628円であります。

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳は、収支残による積立超過額分の責任準備金13,887,628円であります。

#### VII. 金融商品の状況に関する注記

##### (1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債等に限定されているうえ、当社では安全性・流動性の確保のため決済預金及び預貯金による運用を基本方針としております。

##### (2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。（単位：千円）

科目	貸借対照表計上額	時価（※1）	差額
(1) 現金及び預金	643,004	643,004	—
(2) 代理店貸	12,951	12,951	—
(3) 再保険貸	562,796	562,796	—
(4) 未収保険料	369,472	369,472	—
(5) 代理店借	(188,071)	(188,071)	—
(6) 再保険借	(632,388)	(632,388)	—

（※）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

## VIII. 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引は以下のとおりです。

### 1. 関連当事者の概要及び当社との関係

- ①名 称 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
②議決権の所有割合 38.4%

### 2. 取引により発生した債権債務に係る主な科目別の期末残高

(単位；千円)

科 目	残 高
再保険手数料 (収益)	1,370,072
回収再保険金 (収益)	292,784
再保険返戻金 (収益)	106,221
再 保 険 料 (費用)	1,934,902
出 向 負 担 金 (費用)	21,982
再 保 険 貸 (債権)	562,783
再 保 険 借 (債務)	632,388